



謹賀新年

多氣山持寶院 住職 伊東永人

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、健やかに新春をお迎えできましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、当山御本尊不動明王が氏家勝山城から遷座され六八〇年を迎えました。そこで『八朔祭』を九月第一日曜日に変更させて頂き、前日土曜日の夜には、八朔祭宵祭り『万燈会』を勤修し、二日間に亘り御不動様を御開帳させて頂きました。初の法要となった『万燈会』では多くの檀信徒の皆様にお供えいただき、四千燈以上のローソクに点火をお手伝いいただきました。お陰様をもちまして幽玄な雰囲気の中、法要をお勤めすることが出来ました。献灯・御参拝いただきました皆様へ、御不動様の眷属である矜羯羅童子・制吒迦童子の修復を発願しましたところ、多くの皆様に御寄附いただき、無事に入佛開眼大護摩供を終えることが出来ました。重ねて御礼申し上げます。

国内では九月十日、台風十八号の影響で栃木・茨城県内に大雨特別警報が発令される中、記録的な大雨となり、各地で甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになりました方々へのご冥福と、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。また昨年十一月にフランス・パリで同時多発テロが発生してしまいました。無差別な殺戮に憤りを感じます。犠牲者の皆様に哀悼の意を表します。ダライ・ラマ法王はドイツ紙の取材に対し、『テロに対し祈るだけでは問題は解決しない。テロは自然災害のような神に所属する事象ではなく、人間がその気になれば無くせる事象なのだ』とおっしゃっていました。そして『神やブツダや政府が答えを出してくれるとは思わずに、家族や地域の中で平和のために動き始めましょう。』とのメッセージを伝えていきます。本年も世界平和と国土安穩の祈り続けるとともに、祈りの力を礎として実際に自分たちに来ることをご模索してまいりたいと思います。

本尊不動明王からの大いなるご加護をいただき、ご家族の皆様、会社の皆様、益々ご健勝でお過ごしいただき、素晴らしい一年となりますことを心から御祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

合掌

**本尊不動明王遷座六八〇年
八朔祭宵祭り万燈会**

平成二十七年は、多氣山御本尊不動明王が氏家の勝山城から遷座されて六八〇年という記念の年でした。

多氣山におきましては御本尊御開帳の八朔祭をこれまでの九月一日から九月の第一日曜日に変更し、前日の土曜日に宵祭りとして万燈会を執り行いました。

万燈会当日は、栃木智山青年会による声^{しょうみやう}明ライブに始まり、ヴォイスによるゴスペルライブとたいへん賑やかな雰囲気の中、御本様に報恩感謝の万燈会大護摩供が奉修されました。

檀信徒の皆様にはカップローソク、角燈籠のご奉納をいただき、境内には五千灯を越す明りが幻想的な雰囲気を出しました。

ご奉納いただきました方々、点灯作業にお手伝いいただきました方々に感謝申し上げます。



本堂まで灯す角燈籠



願いを込めたカップローソクが奉納させる



栃木智山青年会による声明ライブ



ヴォイスによるゴスペルライブ



万燈会のお護摩の様子



灯された水子地蔵



大師堂と鐘楼堂にも明りが灯された



八朔祭萬燈会
角燈籠献灯ご芳名

三燈

田野町 (有)大森商事

一燈

田下町 渡邊 衛

全 渡邊 睦

川田町 (株)日東コーン・アルム
代表取締役社長

駒生町 星花幼児園
齊藤 栄一

さくら市 岩崎ヨシ子

全 田中 裕一

田下町 (株)きくや酒店

中里町 荒川運輸(株)

西川田町 森作 達郎

下野市 日興運輸(株)

代表取締役
小林 弘房

さくら市 岩崎 六郎

全 岩崎 玲子

田下町 小倉 利弘

全 小倉 鶴子

北茨城市 佐藤 圓三

宝木町 石垣 勝久

鶴田町 湯澤 静

全 湯澤 仁士

戸祭元町 大淵 恵市

全 大淵 久子

細谷町 (株)田村緑知園

代表 田村 惣一

全 田村 吉幸

宝木町 森田 光

栃木市 金谷 瑛美

下荒針町 高山 勝

大谷町 白山 修平

大谷町 長嶋 松男

宝木町 福田 保

岩原町 半田 陽一

鶴田町 (株)太陽警備保障
代表取締役
高山 實

戸 祭 渡邊 武夫

全 渡邊 光枝

全 渡邊 ミツ

陽西町 高瀬 純子

鹿沼市 宮澤 益雄

全 宮澤千恵子

新里町 川又康之亮

鶴田町 池田 幸司

南一の沢 小松 貞夫

上戸祭 浅野 次郎

茂原 阿部 裕

田下町 多気山 桃畑茶屋

江曾島町 (株)大心堂

江曾島町 はやぶさ交通(株)

駒生 (株)ロイヤルフーズ

大 曾 (株)石信

栃木市 (株)NKサポート

問屋町 (株)小林商事

雀の宮 (有)サカヤ園芸

双葉 (株)中島園

八千代 (有)神山商販

壬生町 (株)あじよし

板橋区 東栄運送(株)

世田谷区 佐佐木キイ

全 佐々木能栄

西川田町 角田 和之

全 角田 充由

栃木市 圓城寺

大谷町 増淵 忠夫

日光市 (株)大日光

全 エンジンアリング
山口 侑男

全 (株)大日光

全 エンジンアリング
山口 琢也

大谷町 (有)杉浦新一郎石材店

杉浦 純一

西の宮 (有)高松内装工業

上欠町 大鹿 幸雄

郡山市 磯原不動講

佐藤 芳夫

大 曾 長谷川工機(株)

長谷川 眞

田野町 (株)リベロ

リベロ・カーズ
(順不同・敬称略)



多氣山巡礼会

西国三十三観音霊場

この度巡礼会では、関西の観音霊場「西国三十三観音霊場」の巡礼を平成二十七年に二回と二十八年に一回の計三回に分けて巡礼しております。和歌山県の青岸渡寺をスタートに岐阜県の谷汲山華厳寺をゴールと総ての道のりが千キロを越す大変な道のりです。次回は平成二十八年四月中旬の予定です。



日本三名瀑の那智の滝



1番札所の青岸渡寺



開創1200年の高野山



高野山の金堂にて



悠然と構える善峯寺西山中門



西国唯一の馬頭観音 松尾寺



西の比叡山 圓教寺本堂



圓教寺のベンチが鳥観図に

多氣山巡礼会 新会員募集

巡礼会では年に二回、全国の霊場・札所を巡礼しております。皆さんも是非一緒に巡礼に行きませんか？

多氣山巡礼会事務局 矢島
〇八一六五二一四八八



興福寺南円堂



興福寺

日光五禅頂修行

多氣山修験では毎年秋に日光の山々に入り、世界平和、国土安穩、万民豊樂を祈願し、お参りを行う登拝修行を行っております。例年は二泊三日の日程で、日光惣禅頂と言われる女峰山、帝釈山、小真名子山、大真名子山、男体山の行程と、男体山の代わりに太郎山を登拝する行程を交互に修行してきましたが、本年は古来、惣禅頂修行以前に行われていた「五禅頂」の登拝修行を行わせて頂きました。



女峰山山頂

五禅頂とは、日光修験に伝わる修行の山々で、女峰山、帝釈山、小真名子山、大真名子山、男体山、太郎山を指します。日光修験では春夏秋冬の四回、日光の山々に入り修行を行っていましたが、その中で秋に行う秋峰修行が、今回行った五禅頂修行になります。日光山内の修行の歴史は古く、七八二年に勝道上人が男体山に初登頂をしたのが日光修験の始まりとされ、その後、日光山内は日本屈指の修行の山々として隆盛を極めました。しかし、その修行で



鎖場は必死



大田和の宿ではお護摩の読経が響く

は毎年多くの修験者がその厳しさの為に亡くなり、特に明治時代に入ってから政府からの、神仏分離令や修験道廃止令によって、壊滅状態となり、長らくその歴史が中断されていきました。現代では僅かに残された記録から研究調査が行われております。山内登山ルート上だけでなく、フィールドワークによってルート外にも石仏や社など、そして「宿」と言われる行場が数多く再発見されています。当

時の修験者の宿泊地（お堂があった）、水の補給、護摩修行、他の修験者との情報交換の場として使われていた場所のことを宿と言います。現在でも当時の石仏が残されておき、今回の修行では太郎山の登山道から一時間弱歩いた中腹にある、「寒澤の宿」にお参りをする事が出来ました。

日光山内には、未だ再発見がなされていない石造物も多くあり、現在も調査は行われている最中ですが多



氣山修験ではこれからも先師の足跡を辿り、その遺風に触れながら日光の山々でのご修行を勤めさせていただきたいと考えております。



日光登拝修行に 参加して

松山寺中 横山 秀俊

去る十月二十日、多氣山主催の日光五禅頂修行に参加させて頂きました。

予てより修験道に興味があった私は、ご縁にご縁を重ね、永人住職の「ウエル

カムだよ！」の快諾により、このたび修験道、そして多氣修験の門を叩きました。

「すっげえ厳しいよ！」とのご指摘に対して「壁は高いほうがいいです！」と返した私に待っていたのは、古来よりの自然と、利便性の追求によって変化し続けた、日常生活とのギャップでした。宿泊はすべて避難小屋で、電気・水がなく、布団もなければ食料もありません。ライトだけを頼りに動き、普段ジャブジャブ使っている水も、斜面を下り倒木を越えた先にある水場で、尋常じゃない疲労感と共に得られた水は二リにも満たない量でした。食料や備品を詰め込んだザックの重さは約十キ。連日八〜九時間を歩き通す山行には少しでも荷を軽くし、体の負担を減らす工夫が必要で「好きな物を好きなだけ」の日常とは一八〇度勝手が違いました。頭から足の先まで大

量の汗をかいてもそこには風呂はなく、あせもで体がかゆくて寝付けなかったのを覚えています。

そんな「山の日常」に悪戦苦闘している私に笑いをくれたのが、紛れもない修験の仲間たちでした。音楽が聞きたい時には法螺貝を吹く音楽家が、おいしいご飯が食べたい時は携帯食を組み合わせてフルコースを作る料理家が、トイレに行く時はスコップ片手に敬礼行ってきました。よく、用をたす人をライトで照らし注目を集め、足が臭いと嗅がせては笑い合い、満天の星空の下、皆凍えながら円

になって語り騒ぎ、いい時間になると皆秒速で眠る。疲れて



法螺貝の演奏会

ない人なんかいないからこそ、率先して皆が皆のため動く。「山ってそういうとこだから気にすんな」と言われ、人一倍迷惑と世話をかけてきた新参者の私を受け入れてもらえて目頭が熱くなりました。

先人達が人々の苦しみを一身に背負い山に分け入り、人世の安寧と平和を願う柴燈護摩を修した大和田・寒沢宿跡。今や苔むすその聖域で、先人達の志しを五感で体感し、平成のこの世において柴燈護摩を修し、新たな歴史を築く一端を担えたことを心から誇りに思います。

この日光修験で関わった多氣山修験の皆様を始めとする全ての人の感謝の意を表します。



男体山山頂で読経する筆者

こんがらどうじ せいいたかどうじ
矜羯羅童子・制吒迦童子入佛開眼法要

平成二十七年十一月二十八日

本尊不動明王遷座六八〇年記念事業として三月に修復に出した両童子が、お陰様をもちまして無事修復を終え、多氣山へ帰ってまいりました。

修復勸募金を寄付して下さい下さった方をご招待し、十一月二十八日に開眼法要を奉修し、寄付者ご芳名の刻まれた芳名額の除幕式をいたしました。

矜羯羅童子・制吒迦童子修復勸募に当たり浄財を寄付していただき、誠にありがとうございました。



大きな炎で開眼護摩



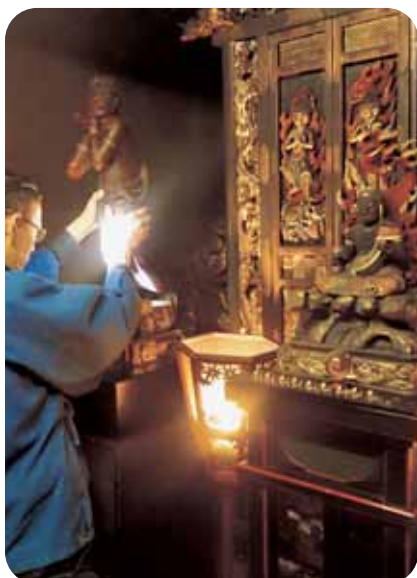
ご参列の皆様



両童子の除幕



童子奉安の前に清めの法要



奉安の様子



御芳名版の除幕式



特別祈願札



信徒会館にて祝宴

修復勸募金寄進者ご芳名

一金壹拾萬円

田下町 渡邊 衛
さくら市 岩崎ヨシ子
白河市 難波 澄子
今泉町 柴田 康雄

一金伍萬円

鹿沼市 床井 弘観
川田町 (株)日東コーン・アルム
代表取締役社長
齊藤 栄一

新里町 川又康之亮
湯沢市 菅野 公二
全 由利 栄一
新里町 吉澤 篤人
西川田町 森作 達郎
五代 半貫 清子
戸 祭 渡邊 武夫
全 渡邊 ミツ
鹿沼市 横山 均
さくら市 岩崎 六郎
上戸祭町 岩崎ハツ江
上戸祭町 浅野 次郎
板橋区 東井 忠弘
東原町 小林 一裕
宝木町 石垣 勝久

若 草 手塚 公敏
一ノ沢町 大島 二夫
戸祭元町 大淵 恵市
宝木本町 半田 龍男
西川田 高橋千壽子
新里町 入江 基男
宝木町 森田 光
兵庫塚 篠田 ミネ
下砥上町 河越 泰子
新里町 吉澤 稔
大谷町 白山 修平
田野町 金澤 学
鹿沼市 森 正
野沢町 高橋 俊子
宝木町 福田 保
鹿沼市 齋藤 マサ
峰 田中 正司
宝木町 村松 悦男
下荒針町 木田 博
西の宮 鳥取 博
宝木本町 池田 秀雄
鶴田町 (株)太陽警備保障

鶴田町 池田 幸司
駒生町 佐藤 理一
全 宮澤千恵子
鹿沼市 宮澤 益雄
鶴田町 五味 諒一
鹿沼市 人見 功
鶴田町 鶴田 功
鹿沼市 鹿沼 益雄
全 宮澤千恵子
駒生町 佐藤 理一
鶴田町 池田 幸司

徳次郎町 (有)ピュア・ガーデン
S H I M A
大嶋 宏一

大谷町 山際 チョ
南一の沢町 小松 貞夫
石井町 吉澤 秀郎
全 吉澤 千代
全 吉澤 訓子
全 吉澤 大智
新里町 床井 明
全 床井 淳一
世田谷区 佐佐木キイ
材木町 宮川 欣也
鹿沼市 岡本 俊雄
清 住 大野美智子
西の宮 (有)高松内装工業
鶴田町 野澤 愛子
全 綱川 幸子
富士見町 岸本 行代
幕田町 野澤マチ子
下野市 床井 健二
全 床井田津子
田下町 竹澤 定一
真岡市 喜多 正則
鹿沼市 五反田 薫
中岡本町 金野美代子
新里町 北條 操
野沢町 高橋 邦生

下田原町 齋藤 仲司
旭 松本 吉美
今泉町 柴田 房枝
田下町 鈴木 猷徳
京 町 坂本 昭
山 本 (株)進和パッケージ
代表取締役
高橋 英晴
(順不同・敬称略)



本堂に奉安されたご芳名版

秋の澄み空に
七五三詣り



十月、十一月は七五三の時期です。多氣山では七五三でお護摩祈祷をされたお子様に、成長安全の御護摩札と、記念品として健康長寿の千歳飴・身代りのお守り・福笹をお授け致しております。

本年も多くの皆様にお参りを頂き、お子様の今後の成長とご活躍、並びにご家族皆様の家内安全をご祈念致しました。



行事案内

十二月

二十八日 納め不動ご縁日
三十一日 除夜祭(除夜の鐘)

一月

一日 新春大護摩修行
迎光祭(初日の出)

二十一日 初大師
二十八日 初不動ご縁日
特別大護摩供(六時護摩)

二月

三日 節分会追儺豆まき式
八日 足尾権現春季大祭
二十一日 月並御影供法要
二十八日 月並御影供法要

三月

二十日 春彼岸中日水子供養
二十一日 正御影供法要
二十八日 月並御影供法要

四月

二十一日 月並御影供法要
二十八日 月並御影供法要

五月

十五日 第九回大火渡り祭
二十一日 月並御影供法要
二十八日 月並御影供法要

六月

二十一日 月並御影供法要
二十八日 月並御影供法要

除夜祭のご案内



除夜の鐘を突く除夜祭

多氣山では大晦日の夜に除夜の鐘を突く除夜祭を行っております。

除夜祭では、住職を始めに、ご参列の皆様には梵鐘を突いていただき、ご参拝皆様の煩惱を祓い清めていただきます。

ご自由にご参列いただけますので、是非多氣山の大きな梵鐘を突いて、新年をお迎えください。

◆日時 十二月三十一日

午後十一時半

迎光祭のご案内

平成二十五年のお正月より初日の出を奉拝する迎光祭を行っております。

多氣山山頂の御殿平では、北東から南西方位の樹木の伐採により朝日が差すようになりました。

一年の一番最初の朝に多氣山山頂までお登りいただき、皆さんで一年間の安穩をお祈りしましょう。

◆日時 一月一日

午前六時五十分頃

◆場所 多氣山山頂御殿平

*日の出までは暗いため、ライトをお持ちください。



迎光祭のようす

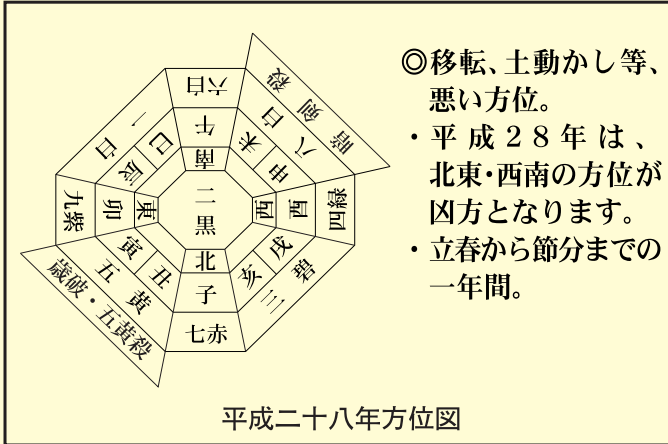
平成二十八年度の方位

新年あけましておめでとうございます。貴家益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成二十八年丙（ひのえ）申二黒土星の年です。丙は十干の三番目でした。一ヶ月を三等した旬（上旬、中旬、下旬）にそれぞれ十干を当てはめて、日にちを表しております。

十二支の申は、木の実が形づいてきて、食べられる一步手前の状態で、味が今一つ付かない苦しさの時期を表しております。時刻でいえば午後三時から五時までで、自然界のエネルギーは減少して、二黒土星は土の性で、万物を育成、保護する性質であります。申にイ（にん偏）を付けると「伸」となり、万能や個性が成長し、若い柔軟性のある考え方や行動が見られる年といえます。

次に二月四日立春から翌年の節分までの悪い方位は、東北に五黄土星が移り五黄殺となります。その反対の西南が暗剣殺に、申の反対の西北西が歳破の購入には十分ご注意ください。大凶方となります。引越しや、家の増改築、車の皆様のご多幸と、ご家族のご安泰を心よりご祈念申し上げます。 合掌



◎移転、土動かし等、悪い方位。
 ・平成28年は、北東・西南の方位が凶方となります。
 ・立春から節分までの一年間。

平成二十八年方位図

	前厄	本厄	後厄		前厄	本厄	後厄
男の大厄 42才	昭51年生	昭50年生	昭49年生	女の大厄 19才	平11年生	平10年生	平9年生
女の大厄 33才	昭60年生	昭59年生	昭58年生	幼児の厄年	平24年生	平23年生	平22年生
男の小厄 25才	平5年生	平4年生	平3年生	男女厄年 60才	昭33年生	昭32年生	昭31年生
女の小厄 37才	昭56年生	昭55年生	昭54年生	13才詣り 平成16年生			

二黒生	五黄生	七赤生	八白生
昭10年 19年 28年 37年 46年	昭55年 平元年 10年 19年	昭16年 25年 34年 43年 52年	昭61年 平7年 16年 25年
昭14年 23年 32年 41年 50年	昭59年 平5年 14年 23年	昭13年 22年 31年 40年 49年	昭58年 平4年 13年 22年

平成二十八年 新春大護摩供のご案内

当山では初詣・元朝特別大護摩供を奉修しております。年頭にあたりご家族お揃いで、開運招福・無病息災をお不動様にお祈りいたしましょう。

志納金

三千元・五千元・一万円・二万円・三万円・五万円以上

願意

- 家内安全 身上安全 身体健全 当病平癒 厄除成就 方難除 方位除
- 災難除 本命除 商売繁昌 事業繁栄 工事安全 交通安全 心願成就
- 開運成就 必勝祈願 進学成就 学業成就 合格成就 就職成就 良縁成就
- 子授け祈願 安産祈願 初詣り 虫切り 六三除け

元旦	二日以降
午前 零時 二時 六時 八時半 九時半 十時半 十一時半 午後 一時 二時 三時 四時	午前 九時半 十時半 十一時半 午後 一時 二時 三時



初詣のようす

はつふどう
初不動のお知らせ
本尊不動明王ご縁日

毎月二十八日は、本尊不動明王のご縁日です。中でも一月の二十八日はその年最初の不動明王ご縁日ということ、「初不動」として古くから多くのお参りで賑わっております。

多氣山では、初不動にお参りされた方々に檀信徒会館にて甘酒のご接待をご用意しております。是非初不動にご参拝いただきまして、ご利益をお授かり下さい。

初不動 (二月二十八日) 本尊不動明王ご縁日のお護摩時間		午前	午後
		六時 八時半 九時半 十時半 十一時	一時 二時 三時

*八時半は初不動と八朔祭のみの御修行です。

節分会追儺式歳男・歳女
稚児募集のお知らせ

節分会追儺式(豆まき式)歳男・歳女、稚児を募集致します。年齢を問わずお申込み頂けます。節分にあたり、除災招福・開運成就を祈願されますようご案内致します。

日 時 平成二十八年二月三日(水) 十一時より
場 所 本堂境内
志納金 歳男・歳女 三万円
稚 児 一万円
締め切り 平成二十八年一月十日



節分会豆まきのようす

第九回
多氣山大火渡り祭の
お知らせ

平成二十八年五月十五日(日)午後一時より多氣山裏参道山麓道場において、第九回の大火渡り祭を行います。なお、火渡り御修行に参加された方には、肌守りを授与致しますので、是非皆様でご参加下さい。

また、柴燈護摩供大火渡りの特別護摩札、特別壇木、御幣お守りなどをご用意しておりますので、是非お申し込み下さい。



※火渡り祭護摩木の奉納は随時、多氣山持寶院寺務所、桃畑茶屋また当日は会場でもお受け致しております。
※護摩札、特別壇木は事前にファックスでもお受けしています。

人車一体交通安全祈禱

毎日午前八時半〜午後三時半 随時行っております。
人車一体交通安全祈願料 一台につき七千円

水子供養

毎日午前八時半〜午後三時半 随時行っております。
水子供養料 一霊につき一万二千元
※元旦より一月十一日までは、自動車交通安全祈願・水子供養はお休みさせていただきます。
※十二日より二月三日節分までは、平日のみの御祈願・御供養となります。ご了承下さい。

編集部より

フェイスブックはじめました。日々の行事や季節の花などを随時更新してまいります。フェイスブック未登録の方も閲覧できますのでご利用ください。
URL: <http://www.tagesan.com>
TEL: 〇二八-六五二-一四八八
FAX: 〇二八-六五二-一八〇九八



▶多氣山 不動尊
▶フェイスブック

発行 持寶院
〒321-0343 宇都宮市田下町563
電話 028-652-1488
FAX 028-652-8098
印刷 練井上総合印刷
〒321-0973 宇都宮市岩曾町1355番地
電話 028-661-4723